

スタートアップ部門 まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	片平学区子育て支援ネットワーク連絡会
まちづくり活動名	片平学区・多世代交流の場づくり
活動地域	名古屋市緑区片平学区
活動の背景	<p>(団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。)</p> <p>令和元年度に片平学区連絡協議会が中心となり、「片平学区子育て支援マップ」を作成した。学区内にある子育て支援団体（幼稚園、保育園、学童保育所、トワイライトスクール、地域型保育事業所、NPO 法人など）をマップにし、事業内容を紹介したものである。</p> <p>子育て支援マップに掲載された子育て支援団体を中心に、2020年2月に集会を開催し、団体名を「片平学区子育て支援ネットワーク連絡会」とし、代表に小林氏が就任することが承認された。</p> <p>2021年度は名古屋都市センターのまちづくり助成(1回目)を受けた。コロナ感染症感染予防の観点から活動が制限される中ではあったが、感染予防対策を徹底し、総会&ワークショップ、交流イベント「クリスマス☆スタンプラリー」、子どもの人権講演会を開催することができた。これらの活動を通じて、構成員同士の関係性が生まれ、協力体制が徐々にでき始めている。</p> <p>総会の後にワークショップとして、構成員同士でこれからの活動について対話する場を持った。その際に、今後取り組みたいことのアイディアがいくつか出された。そのアイディアをもとに、今年度の取り組みを計画した。構成員それぞれの強み、得意な領域を活かし、子ども・子育てに関する情報を共有するなどの機会をつくと共に、活動を通じて、片平学区の地域コミュニティの活性化をはかる予定である。</p>
目的・目標	<p>(活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 目的：片平学区内にある子ども・子育ての支援団体が連携し、子どもたちの健全な育成支援と子育て環境の整備・拡充のための活動を行なう。また、このような活動を通じて、地域コミュニティの活性化を図る。 ■ 目標：団体に所属するそれぞれの構成員ができることや強みを生かし、互いに連携をはかりながら、片平学区の子ども・子育ての課題解決に共同で取り組むこと。 当団体が実施している活動が、学区全体に認知され、賛同者を増やし、学区全体で子どもを育む土壌ができること。 ■ 成果：団体の活動をきっかけに、つながりが緩やかに広がり、さまざまな活動が開始されること。日常の業務においても情報交換や合同でイベントを開催するなど、助け合い・支え合いの風土が醸成されること。

審査基準② 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が具体的になっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)	
<ul style="list-style-type: none"> ・2020年から1年余りの活動で、少しずつではあるが、構成員同士の関係が構築され、団体の運営や活動計画などを話し合い、共有できる体制ができている。 ・構成員の中には学区連絡協議会の役員がおり、地域で連携・協力できる体制がある。また、住民には回覧板等を通して、団体が実施するイベントの告知、協力依頼が可能である。 ・現在、構成員は20名程度である。会の運営方針の検討、イベントの企画運営、広報担当などの役割を分け、行事・イベントごとの委員会方式で運営することを予定している。 	
審査基準③ 発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。)	
<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブや女性会などの地域団体にも声をかけ、子ども会や学童保育所などが行うイベントへの参加・協力を促進し、住民が持っているさまざまな能力やスキルをコミュニティの中で生かし合うことができる仕組みを検討する。 ・片平学区にある千句塚公園を活用した子ども遊び場（プレパーク）を検討する。すでに名古屋市内で取り組んでいるプレワーカーに依頼し、アドバイスを求める。 ・災害などの緊急時の共助を可能にするためには、普段からの住民同士の関係づくりが不可欠である。地域の防災訓練には現状ではあまり参加していない層である、子ども・子育て世代にも関心をもってもらえるような「ママ防災学習会」を実施する。また、構成員が所属する事業所ごとに取り組んでいる防災に関する対策を共有する情報交換会を開催する。 ・子どもの情操教育のために有益な絵本を購入し、構成員が所属する事業所に貸し出す「移動図書館」を計画する。また学区内のたまり場「いっぷく茶屋」を定期的に開放し、屋外のスペースで、親子で楽しめる絵本の朗読会を開催する。 ・来年度以降は、多世代交流を図るイベントとして、「かたひら文化祭（仮）」の開催を検討する（今年度は企画段階で来年度開催を目指す）。乳幼児からお年寄りまで、多世代が一堂に会し、遊びやゲーム、食事作りや語らいの場などを設け、1日楽しく過ごすイベントである。運営に小中学生も入れることで、地域とのつながりの形成、リーダーシップの育成を目指す。 	

3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
<ul style="list-style-type: none"> ・片平学区連絡協議会 ・片平学区民生児童委員協議会 ・緑区保健センター保健予防課 ・緑区役所福祉部民生子ども課 ・緑区社会福祉協議会 ・みどり子育て応援団 ・子どもNPO ・名古屋市コミュニティサポーター 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、協力を要請している。 ・イベントの参加や広報に関して協力をいただくとともに、必要に応じて、助言指導をいただく。

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

活動内容	<p>(上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。)</p> <p>【活動内容・実施方法】</p> <p>■定例会の開催：連携・協働のための活動 総会や定例会などの機会、各構成員の現状（コロナ禍における活動、防災に関する取り組み等）を情報共有し合う場を提供する。顔の見える関係づくりをすることで、各々の強みを生かして協働できるように働きかける。</p> <p>■防災に関する学習会・情報交換会の開催 9月5日に片平学区で総合防災訓練を開催する予定である。それに伴い、子育て支援ネットワーク連絡会の今年度のテーマの一つとして「防災」掲げる。 ①「ママと子どものための防災学習会」 ママ防災会のメンバーを講師に招き、乳幼児とその親を対象とした防災学習会を実施する。災害時どのような行動をとったらいいかとか備蓄品のことなど、基本的な防災に関する知識を獲得することを目的として開催する。 ②構成員向けの「防災アンケート」と「防災に関する情報交換会」 幼稚園や保育園等、子どもを一定時間預かる事業所で、防災に関してどのような対策がとられているかを調査・集計後、情報交換会を開催し、この地域で防災を切り口にどのような支援ができるかを検討する</p> <p>■季節行事、イベントの開催：「かたひらプレパーク」 今年度も引き続き、コロナウィルス感染拡大予防のため、大規模なイベントの開催は不可能であると考え、屋外（学区内の千句塚公園を予定）で、1日だけのプレパークとして子どもたちが主体的に遊び場をつくり、大人たちもその場を一緒に楽しめる交流の場づくりをする。すでに名古屋市内で実践しているプレワーカーにもアドバイスを求めて実施する。</p>	
活動予定期	令和3年 6月 ～ 令和4年 2月	
助成金交付申請額	100,000 円	※1回目（上限5万円） ※2回目、3回目（上限10万円）

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

<p>審査基準① 必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
<p>(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動地域を緑区片平学区とその周辺地域に限定している。「子ども・子育て」を中心とした活動であるが、目標とするところは、地域とのつながりづくりである。地域の人びとにあたたく見守られながら成長し、地域に愛着をもち、いつか地域に貢献する大人になることを目指し、片平学区の多世代の住民を巻き込んだ活動にしていく。 ・団体の自立的な運営基盤を強化し、活動を展開するために、住民特に子育て世代に団体の活動を知ってもらい、活動の参加者や協力者を増やす必要がある。広報活動(ポスターの貼付、チラシ配布、イベントの開催など)の強化・拡大は欠かせない。 ・団体ができて間もなく、通信費や消耗品費は会員の寄付金で賄っている。経済的な面でも自立的・持続的な活動をするために、助成金が必要である。 	

まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2021	4		
	5		
	6	総会準備 防災アンケート作成	総会の案内をするとともに、防災に関するアンケート調査の質問項目を検討する。
	7	総会 & ワークショップ	・団体の方針・方向性を決める。 ・コロナ禍の現状について構成員同士で対話をし、情報共有をはかる。
	8	ママと子どもの防災 学習会	講師に依頼し、乳幼児とその親を対象とした防災学習会を実施する。
	9	防災に関する情報交 換会（構成員対象）	防災アンケートの集計結果の報告と、日ごろからどのような防災に関する対策をしているか等、情報交換をする
	10	定例会	11月に開催するイベントについて具体的に話し合う
	11	子どもと楽しむ交流 イベント（プレパーク）	屋外（千句塚公園を予定）で、多世代でゆるやかに交流できる場の提供。
	12	絵本の朗読会	いっぴく茶屋を解放し、クリスマスにちなんだ絵本の朗読会をする。
2022	1		
	2	・定例会 ・活動報告の作成	今年度の活動に関する評価と来年度に向けた話し合い→活動報告の作成を行う
	3		

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

	費目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金額 (円)	
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				100,000円	
活動経費の内訳	消耗品費	定例会、ワークショップ等 交流イベント	コピー用紙、封筒、文房具類等の事務用品 イベントで参加者に提供する景品 ・ママ防災勉強会 30人程度 ・プレパーク) 150人程度 講師、参加者への飲料等	15,000 5,000	
	通信費	広報活動	議事録、チラシなどの発送費用 (構成員、緑区内外の子育て支援団体、行政機関等)	10,000	
	印刷費	勉強会、交流イベント等	チラシ、配布資料の印刷費用 ・ママ防災会チラシ 1,000部 ・プレパークチラシ 3,000部 ・総会・定例会等、資料印刷代	15,000	
	物品費	書籍購入	絵本等 (@1,500×15冊程度) 防災に関する紙芝居・絵本	20,000 5,000	
	資料費	防災関連	防災に関する書籍	5,000	
	賃借料	勉強会会場	緑生涯学習センター（予定）	3,000	
	謝金	防災学習会 イベント 交流イベント	ママ防災講師1名 交通費 プレパーク指導員兼講師1名 交通費	10,000 2,000 10,000 2,000	
	その他	交流イベント	参加者の傷害保険 (社会福祉協議会で申込み)	5,000	
	支出合計				107,000円

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。